


●本年は積雪量が平年より少なく、気温も平年より高く推移しており、平年よりも生育が早まると予想されます。
●春季は気象変動が激しく品種・地域によって生育の開きが大きいので、園地状況を確認し適期防除に努めましょう。

(平岡定点) 太陽 発芽日

平年	H30	R1	R2	R3	R4	R5
3/24	3/23	3/22	3/11	3/21	4/3	3/21?

1. 薬剤散布

【第1回 定期防除】 対象病害虫：ふくろみ病・カイガラムシ類

散布時期	発芽前	プラム「ふくろみ病」防除時期  花蕾が開き始めるまでに散布する。	
	・プラム : 3月中旬 (右写真 参照) ・プルーン : 3月中下旬~		
散布薬剤	水	98ℓ	散布日
	トレノックスフロアブル	200 ml	___ 月 ___ 日
	スプレーオイル	2ℓ	散布量
			___ ℓ
散布量	300ℓ / 10a		
注意事項	① <u>【カイガラムシ強化対策】</u> アプロードフロアブル 1,000倍 (14日前、2回) を加用する。 ② <u>【ふくろみ病 対策】</u> トレノックスフロアブルに代えて、ホーマイコートの100倍 (休眠期、1回) を使用する。		

裏面もご覧ください

2. 重要病害虫

① ふくろみ病

越冬場所：樹上（主に芽の周辺）

防除対策：石灰硫黄合剤、ホーマイコートの散布。被害果実の除去。

防除適期：発芽前、花蕾が開き始めるまでに（休眠期および第1回定期散布）

ふくろみ病 被害果実



ふくろみ病 感染開始期(花蕾が開き始めた頃～)



この頃から、降雨により感染する。

② ウメシロカイガラムシ

越冬場所：樹上（主に枝の表面）

防除対策：①マシン油乳剤（スプレーオイル）、殺虫剤の散布

②ブラシで擦り落とす。被害枝を切除する。

防除適期：休眠期（スプレーオイル散布）、5月中下旬（殺虫剤散布）

ウメシロカイガラムシ越冬成虫



（白い殻を剥がすと
オレンジ色の成虫が見える）

